



仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

2018年7月号ブリテン 通算第86号 2018.7.20



事務所 〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL: 022-222-7533 FAX: 022-222-2952

Email: otada@mail.tohoku-gakuin.ac.jp 書記 多田 修

ブリテン: <http://ys-east.jimdo.com/bulletin/sendaihirosegawa/>

第1例会: 毎月第3水曜日・第2例会: 毎月第1水曜日 仙台YMCA 18:45

2018—2019年度 主題 (Theme)

国際会長	Moon Sang Bong (韓国)	「私たちは変えられる」
アジア会長	田中 博之 (東京多摩みなみ)	「アクション」
東日本区理事	宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)	「為せば 成る」
北東部 部長	涌澤 博 (仙台青葉城)	「チャンス到来 われら北東部から世界へ」
クラブ 会長	加藤 研	「元気ですか? ワイズで心の洗濯をしませんか!」

2018~2019年度 クラブ役員

会 長	加藤 研	メネット会長	多田 純子	DBC	本野日出子
副 会 長	伊勢 文夫	ドライバー	佐藤 健吾	地域奉仕	清水川 洋
副 会 長	菅野 健	監 査	高篠 伸子	地域奉仕	阿部 松男
書 記	多田 修	YMCA	佐藤 剛	アジア大会	及川 浩美
書 記	佐藤 剛	会員増強	村井 伸夫	ブリテン	荒木 啓二
会 計	松本 京子	会員増強	布宮 圭子	直前会長	及川 浩美
会 計	門脇 秀知	ユース	佐藤 善人	担当主事	荒木 啓二

巻頭言

『バザー物品寄贈 友よ! ありがとう!』

伊勢文夫

毎年実施されるバザー。今年はいにくの雨天での開催となった。目標収益金に届くのか、近づけるのか心配な一日を過ごした。ワイズの一員として協力を続け7年が過ぎた。我が家の物品は東日本大震災への支援物資として出し尽くしているのでバザーの支援には至らない。私は「バザー物品寄贈のお願い」チラシをコピーし友人に挨拶を続けた。一年中、機会があればバザーの趣旨を説明し続けた。その甲斐もあってか自宅に郵送されることや、電話で連絡を受け回収に出かける事も多くなった。そこで年間計画を企て、YMCA バザー一用、おさがり会用、町内会用、デイサービス用などに分別して、有効に活用するよう進めた。その他、使用済切手、はがき、アルミ缶等の協力も拡大している。誠実にお願いしていると現在では「取りまとめてありますよ」と友人から連絡を頂けるようになり、何とも嬉しい限りである。変われば変わるものだ。特にこの一年の間は「家を処分するので活用品があれば利用して下さい」と3件の申し出を受けた。大量の品を預かり、整理で大変な時もあるが、バザーの一支援金の一助となるよう願っている。それにしても沢山の友人が協力してくれることに感謝し、次回も継続できるようにこれから届けられる「お礼状」に託したいと思いません。協力頂いた皆さんありがとう!! 心より感謝申し上げます。

すべて多く与えられた者は、多く求められ、多く任された者は、更に多く要求される
ルカによる福音書 12章48節

6月第1例会報告

在籍者	17名	出席者	12名	メイキャップ	1名	出席率	76%
メネット	2名	ゲスト・ビジター	0名	ニコニコ	9,000円		

6月第1例会報告

日 程：2018年6月20日（水） 19時～21時

19時～20時：ジャズの調べ トーク&ライブ

YMCA会館ホール

20時～21時：例会 YMCA203教室

参加者：阿部、荒木、伊勢、及川、加藤、門脇、菅野、多田、

布宮、本野、松本、村井 メネット：加藤・多田メネット

(サクソ名雪祥代さん ピアノ谷川賢作さん

コントラバス小美濃悠太 ドラム橋本学さん)

どんな音色が楽しめるかと期待をし4階ホールに。



入口でホテル学校の生徒さんに「ワンドリンク」をいただき着席。概ね90人ほどの老若男女が集合。ワイズやY職員だけではなく、お見かけしたことのないお顔が数多く集合。時間と共にNHKの夕方のラジオ番組「5時だっちゃ」でパーソナリティを務めるサクソの名雪さんの進行で演奏がスタート。オリジナルやスタンダード曲をはじめ唱歌をジャズ風にアレンジした曲風での演奏等々、「アッ」という間の1時間でした。名雪さんは我がクラブ菅野さんのサクソ師匠。そのご縁で今回の演奏となりました。

(加藤 研)

引き続き、教室を移動し例会がスタートしました。ライブの余韻に浸りながら例会は進みます。短い時間の中で、今期のクラブ活動の評価、次期クラブ運営の想いを語り合いました。2年間会長の大役を担って頂いた及川メンへの感謝と、次期会長予定の加藤メンの展望などを伺い、内容の濃い例会となりました。7月の第2例会で、メネット報告(素案)、事業計画(素案)、会計報告(途中経過)などを確認し、7月の第1例会【2017年度総会】への準備をする事になりました。7月以降、足を向けたくなる「例会」作り、広瀬川らしい活動作りを模索しながら進む事が話されました。来月の総会(例会)で2017年度の全ての承認、2018年度計画の承認がなされる予定です。

(荒木啓二)

7月・8月予定

7月 4日(水)	仙台広瀬川ワイズメンズクラブ第2例会
7月14日(土)	夏季ユースリーダー委嘱状授与式 19:00~20:30
7月18日(水)	仙台広瀬川ワイズメンズクラブ第1例会 総会
7月20日(金)	第4回仙台YMCAバザー実行委員会 19:00~20:30
7月20日(金)	第1回国際・地域協力募金実行委員会 19:00~20:30
7月28日(土)	北東部評議会 仙台YMCA 13:00~
8月 1日(水)	仙台広瀬川ワイズメンズクラブ第2例会
8月21日(火)	4ワイズ納涼例会

新会長 加藤研メン 挨拶

YMCA やワイズの集まりの時は「聖書」に接することができます。慌ただしい日々の生活の中で、心静めて「拝読」できる貴重なひと時と最近ようやく思えるようになりました。



私は信徒ではありませんが、大切にしたいことばを知ることができました。「ローマ信徒への手紙 12章 3-5節」と「ヨハネによる福音書 17章 21節」です。自分の弱さばかりを責めがちな私にとっては心にしみることばでした。この思いを醸し出せる1年であればと考えます。最近耳にしたことですが“山で伐採すると、陽の当たった所から何年も前に地面に落ちた種が発芽する。種はそのタイミングを待ち続けている。そんな種が無限に地中に存在し、その時を待っている”ワイズメンには様々な違いがあります。職業であったり年齢であったり。理想は皆がいつも躍動できることでしょうか、時としてそのことが負担となることもあるはずですが。「会員増強」はもちろんですが「その時を待つ」心構えも必要です。「離さずに待つ」ために「楽しい例会企画」「Y行事に楽しく参加」「オリジナル活動創作で心楽しく」を慌てずに進めて行きます。「手作り感」が伝わるクラブ運営ができれば幸せです。楽しくゆっくりと1年を過ごしましょう！

仙台広瀬川7月第2例会

☆「2018年7月4日(水)「7月第2例会報告」仙台YMCA203
参加者：阿部・荒木・伊勢・及川・加藤・門脇・菅野・松本
時間：18:45~20:00

黙祷

- | | |
|---------------------|------|
| 1. 開会点鐘 | 及川会長 |
| 2. ワイズソング | 一同 |
| 3. ワイズの信条 | 一同 |
| 4. 会長挨拶 | 及川会長 |
| 5. 協議・確認 | |
| ① 理事通信の確認 | |
| ② 会長報告 | |
| ・8月の合同例会は8月21日(火)実施 | |
| ③ 各担当者から提案・報告 | |
| ④ 各実行委員会報告 | |
| ・バザー最終委員会は7月20日 | |
| ⑤ YMCAより | |
| ⑥ プリテン原稿 巻頭言 伊勢メン | |
| 6. 閉会挨拶 | 門脇メン |
| 7. 閉会点鐘 | 及川会長 |

西日本豪雨災害 YMCA ポジティブネット募金

緊急街頭募金実施 7月16日 10:30~12:00

市民の皆さまから 289,208 円の募金を頂きました
今後も仙台広瀬川ワイズメンズクラブは街頭募金活動、募金活動など協力を続けます (荒木啓二)

7月18日総会で全て承認されました

7月18日(水)、仙台広瀬川ワイズメンズクラブ第1例会(総会)において、会計報告、事業計画、新役員改選など全ての事案が承認となりました。

例会の詳細は8月号にて。

2年連続で会長の大役を全うされた及川浩美メンにクラブ員一同、労いの、そして感謝の大きな大きな拍手を送ります(荒木啓二)



夏季リーダー委嘱状授与式

- ◆日 程：7月14日(土)
- ◆時 間：19時~20時30分
- ◆場 所：仙台YMCA立町会館
- ◆参加メン 阿部 加藤 菅野

今年は4月から座学・実技等トレーニングを行いました。ユースリーダーとして必要な学びを持ち、夏を迎えます。素晴らしいリーダー達と共に貴重な時間を過ごせた事を嬉しく思います。今後もワイズとユースが強く繋がりがながらYMCA運動を広めて行きたいと思えます(佐藤健吾)

【委嘱状授与!!元気一杯のリーダーたち】



ワイズメンズクラブ2019年第28回 アジア太平洋地域大会

開催日：2019年7月19日(金)~21日(日)

開催会場：仙台国際センター

あと12ヶ月

編集後記

今も豪雨の被災地は苦しみの中にいます。私たちが出来る事を精一杯取り組みます。ワイズとYMCAが両輪を回しながら、被災地へ希望を届けられる働きを推進します。神様と共に。

(K・A)